

第3回定例会 予算決算委員会（全体会） 会議録

=====

日 時 令和4年9月14日（水曜日）

午前10時55分開会、午前11時15分閉会

場 所 第1委員会室

日 程

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 審査内容
議案第53号 令和4年度土浦市一般会計補正予算（第5回）
- 4 閉 会

出席委員（22名）

委員長	島岡	宏明
副委員長	福田	一夫
委 員	久松	猛
委 員	内田	卓男
委 員	柏村	忠志
委 員	寺内	充
委 員	矢口	清
委 員	柳澤	明
委 員	吉田	千鶴子
委 員	海老原	一郎
委 員	篠塚	昌毅
委 員	小坂	博
委 員	鈴木	一彦
委 員	平石	勝司
委 員	下村	壽郎
委 員	今野	貴子
委 員	塚原	圭二
委 員	勝田	達也
委 員	矢口	勝雄
委 員	目黒	英一
委 員	奥谷	崇
委 員	田子	優奈

欠席委員（1名）

委員 吉田 博史

説明のため出席した者（9名）

副市長	東郷 和男
副市長	片山 壮二
市長公室長	川村 正明
保健福祉部長	塚本 哲生
こども未来部長	加藤 史子
産業経済部長	佐藤 亨
教育部長	望月 亮一
消防長	鈴木 和徳
財政課長	山口 正通

事務局職員出席

次 長	天貝 健一
係 長	小野 聡
主 任	津久井 麻美子
主 任	松本 裕司
主 幹	鈴木 優大

傍聴者（1名）

男1名、女0名

○**島岡委員長** ただ今から、予算決算委員会を開会いたします。本日は、本定例会において、当予算決算委員会へ付託されました議案第54号令和4年度土浦市一般会計補正予算第6回の内、歳入についての審査を行います。この全体会での質疑は、歳入についての質疑のみでお願いを致します。歳出については、各分科会に分かれて審査をしていただきます。また各分科会終了後、再度、予算決算委員会の全体会を開催し、予算決算委員会としての結論をまとめますので、よろしく願いいたします。早速ですが審査に入ります。サイドボックス、本会議、令和4年、第3回定例会、事前配付資料、議案第49号から第68号を御準備願います。それでは、議案第54号令和4年度土浦市一般会計補正予算第6回第1表歳入歳出予算補正中歳入全部を議題といたします。執行部より説明願います。

○**山口財政課長** 財政課でございます。議案第54号令和4年度土浦市一般会計補正予算第6回。私の方からは、今回の補正予算の歳入について、議案書を使って説明させていただきます。議案書の御用意はよろしいでしょうか。では、説明に入らせていただきます。議案書の28ページをお願いいたします。第1表歳入歳出予算補正の歳入でございます。今回の歳入の補正予算では、当初予算に見込めなかった事業費などの財源として、国庫支出金、県支出金、寄付金、このほか、繰入金、繰越金、合わせて31億5,025万6,000円を増額計上し、総額を576億7,416万3,000円とするものです。内容につきましては33ページをお願いいたします。16款国庫支出金、2項国庫補助金につきましては、補正予算額の計の欄にもございますように、1,386万7,000円を増額計上するものです。7目教育費国庫補助金、2節小学校費補助金につきましては、説明欄にございますように、2項目ございます。一つ目は、公立学校情報機器整備費補助金でございまして、GIGAスクール構想推進事業において、大規模校などにおいては、同時接続時にインターネット通信に繋がりにくい状況があることから、根本的な解決方法を見出すためのネットワーク環境調査を実施する費用を計上しており、同事業は、国の補助対象であることから、同補助金を計上するものです。二つ目は、学校保健特別対策事業費補助金でございまして、各学校施設が、感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するために必要となる、サーマルカメラやサーキュレーター、CO2モニター等の感染症対策物品の購入費用に対して、国の補助があることから、同補助金を計上するものです。3節中学校費補助金につきましては、先ほど小学校費補助金で説明いたしました、インターネット環境調査費用、感染症対策物品の購入費用の中学校分に対する国庫補助金です。16款国庫支出金、4項国庫交付金につきましては、補正予算額の計の欄にございますように、116万3,000円を増額計上するものです。このうち、2目民生費国庫交付金につきましては、2項目、一つ目は地域少子化対策重点推進交付金でございまして、結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新生活のスタートに係る費用を助成する結婚新生活支援事業において、現予算を上回る申し込みが想定されることから、新婚世帯への補助金を増額額計上しており、同事業は、国の補助対象であることから、同交付金を増額計上するものです。二つ目は、保育士等処遇改善臨時特例交付金でございまして、放課後児童クラブ支援員等の処遇改善を目的として、令

和4年2月分から実施しております、賃金等を3パーセント程度引き上げるための事業者への補助金に不足が生じることから、不足分の事業費を計上しており、同事業には、全額国の補助があることから、同交付金を同額計上するものです。5目商工費国庫交付金につきましては、本市に移住し、新たに就業、起業、テレワーク等を行う方に移住支援金を交付する、わくわく茨城生活実現事業について、同事業は、地方創生推進交付金を活用した県事業であることから、既存予算で計上しておりました財源を、国庫支出金から県支出金に更生するものです。17款県支出金、2項県補助金につきましては、34ページの上段の表にございますように、1億9,517万8,000円を増額計上するものです。33ページにお戻りいただいて、2目民生費補助金につきましては、節が二つに分かれておりますが、いずれも同事業分でございます。県が臨時交付金を活用して実施する、食糧等の物価高騰等の影響を強く受けている低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円を支給するための給付費及び給付に伴う事務費を計上しており、同事業には全額、県の補助があることから、県補助金を同額計上するものです。このうち5節児童福祉費補助金は、ひとり親以外の世帯分でございます。児童手当、特別児童扶養手当の支給を受けている非課税者や、このほか、18歳未満の子の養育者で、非課税、もしくは、家計急変により非課税者と同様の事情にある方への給付費、及び、給付に伴う事務費に対する県補助金、9節母子家庭等対策総合支援事業費補助金は、ひとり親世帯分でございます。児童扶養手当の支給を受けている方、家計が急変し、収入が児童扶養手当を受けている方と同水準となった方などへの給付費及び給付に伴う事務費に対する県補助金の計上でございます。3目衛生費県補助金につきましては、がん予防検診促進事業費補助金でございます。子宮頸がん・乳がん集団検診の受診者、3歳児健康診査及び就学時健康診査に来所した保護者に対する検診案内、自己啓発パンフレット等を配布する事業が、県補助金の交付対象となったことから、既存予算の財源を一般財源から県補助金に振り替えるものです。5目商工費県補助金につきましては、わくわく茨城生活実現事業費補助金でございます。本市に移住し、新たに就業、起業、テレワーク等を行う方に移住支援金を交付する事業が、現予算を上回る申し込みが想定されることから、移住者への補助金を増額計上しており、同事業は、県補助金の対象であることから、同補助金を増額計上するとともに、先ほど説明いたしました、既存予算の財源を国庫支出金から県支出金へ振り替える財源更生分を合わせて計上するものです。34ページをお願いいたします。二つ目の表になります。17款県支出金、3項県委託金、6目教育費県委託金につきましては、新たな体験活動プログラムモデル事業費委託金でございます。地域の様々な教育資源を活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った、宿泊を伴う課題解決型の体験活動プログラムに、本市の二つの小学校が指定され、このプログラムを実施するための費用は、全額、県の負担となることから、同委託金20万円を計上するものです。19款寄付金、1項寄付金、6目消防費寄付金につきましては、新型コロナウイルス対策を目的とした寄付をいただいたことから、同寄付金50万円を計上するものです。なお、同寄付金は、消防で使用している感染防止資器材の購入費用に充当する予定です。20款繰入金、1項特別会計繰入金につきましては、

1目介護保険、3目後期高齢者医療、4目農業集落排水事業の各特別会計の令和3年度の決算に伴い、余剰金を一般会計に繰り入れるもので、433万6,000円を計上するものです。35ページをお願いいたします。21款繰越金、1項、繰越金につきましては、令和3年度の歳入から歳出を差し引いた形式収支から、令和4年度に繰り越した歳出予算に充当すべき金額を差し引いた実質収支、29億3,501万2,000円を計上するものです。議案第54号土浦市 一般会計 補正予算第6回の歳入予算補正の説明につきましては、以上でございます。

○**島岡委員長** それでは、御質問ございますか。

○**内田委員** 35ページ繰越金の29億なんですけど、これは毎年度9月の時点で29億という金額は私はなんか多いような気がするんですよ。これから12月3月にかけて増えていく見通しなのかということも含めて、この中身を説明いただければありがたい。

○**山口財政課長** こちらは内田委員のおっしゃっているとおりでございます。この29億円を含まずに過去5年間の平均を出しましたところ、大体13億円程度でございますので、約2倍以上の実質収支が出ております。理由として、国庫支出金が過分に交付されていることが一つの要因でございます。例を申しますとワクチン接種、特別給付金といったものは実績を上回る金額で概算交付的にされておりまして、過分の金額が10億円超ございますので、29億円の実質収支が出ておりますが、このうちの10億円強が今後国庫に返還しなければならない金額となっておりますので、その分金額が増えてしまっているということでございます。

○**内田委員** 30億のうち3分の1の10億はいずれ返さなくてはならないという説明なんです。今後これは残りの半年間、12月議会、3月議会と増えていくの。僕は減る気がしないんだよな。増えていくような気がしてしょうが無い。

○**山口財政課長** こちらは繰越金でございますので、一旦歳入として入れまして、そちらの方は一旦基金の方に積ませていただく予定でございます。歳出の方で御説明させていただく部分ではございますけど、財政調整基金ですとか、公共施設等総合管理基金、市立学校施設整備基金の方に分けて積ませていただく予定です。このあと補正予算が12月3月にできるようなことがあれば、財源が不足することになりますので、財政調整基金の中から取り崩しをして財源として活用していくということになるかと思えます。

○**内田委員** 要は例年繰越金は基金に化けていくわけだよな。増えていくというのは基金が170億だっけかな。200億くらいの金額が想定されるんだけど、基金が増えていくのではと心の中で聞いています。

○**山口財政課長** 財源としていくら活用するのにもよってくるのかなと思えますけど、公共施設等総合管理基金それから市立学校施設整備基金に積ませていただく基金というのは今年度中は活用するとは思いませんので、次年度以降の財源とするとすれば、その分の基金は増えていくと思われれます。ただこの実質収支につきましては、歳入から歳出を引いた金額が形式収支。繰越金を差し引いた金額が実質収支ということですので、歳入の中には地方債で借りた金額も歳入。基金を取り崩した金額も歳入ということですので、一方で地方債は多額の金額を借りているということもございますので、

言い方を変えますとお金を借りた分が実質収支としてこちらに来ているということも言えなくもないということもございます。ですので将来的にお金を返していく為に基金を活用するということが今後十分に考えられます。内田委員がおっしゃっているように基金は若干増えるというように思っておりますが、今後の財源にしていきたいということもでございます。

○内田委員 確か30億や40億くらいの借金は、借りる返すの差額が今回確か40億くらい。今回の決算だよな。たしか予算はそれくらいの差があるんじゃないかな。それをやってもこうやって繰越金が出てくるということは、これ悪い話ではない。良い話だからいっているんだからね。私は当然財政課長は金を扱う立場だから、慎重にお話ししなくてはならない立場であるからあれだけど、それを考えるとそんなに悪くないよなと考えているんだけどどうだろう。

○山口財政課長 土浦市の財政状況についての考えかと思えます。土浦市の財政状況に関しましては決して悪くないと私自身も思っております。ただ危惧しているのは、先程来申し上げておりますとおり、地方債の借入額が茨城県内の他市町村と比べても2倍以上あると。類似団体51市と比べても2倍以上あると。財政状況は悪くはないのですが、将来世代に負担を掛けているのも事実でございますので、今どんどんお金を返している状況にありますので、今後もそのようなことに注意をしながら財政運営には気をつけていきたいと思えます。

○島岡委員長 その他御質問はございますか。

(「なし」の声あり)

○島岡委員長 それでは、賛否を確認いたします。この予算の歳入について、賛成とする方は、挙手を願います。

(賛成21名)

○島岡委員長 反対する委員はおりませんでした。それでは、次回の予算決算委員会全体会までに報告書をまとめてまいります。つきましては、報告書に盛り込みたい意見等がございますか。

(「なし」の声あり)

○島岡委員長 それでは、事務連絡を申し上げます。明日9月15日木曜日午前10時から令和3年度決算歳入の審査を行いますので御参集願います。また、予算決算委員会現地調査を9月28日水曜日10時30分より行います。詳細は本日タブレットにメールにお送りいたしますので御確認ください。なお、やむを得ず現地調査を欠席する場合は、昼食会場の準備がございますので、21日水曜日までに事務局までお知らせください。当日は現地調査後の午後より全体会を開催いたします。では、慎重な審査をいただきましてありがとうございました。これにて予算決算委員会を閉会いたします。